

<研修科目と研修時間>

別紙1

(株)北海道アルバイト情報社 ジョブキタ就職塾

科目名	研修時間
1、 職務の理解	6時間
2、 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
3、 介護の基本	6時間
4、 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
5、 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
6、 老化の理解	6時間
7、 認知症の理解	6時間
8、 障害の理解	3時間
9、 こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
10、 振り返り	4時間
合計	130時間

介護職員初任者研修カリキュラム（通信課程用）

1 職務の理解（6時間）

o到達目標・評価の基準

研修に先立ち、これから介護を目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	3	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修課程全体の構成と各研修科目相互の関連性の全体像をあらかじめイメージする。 ・学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習する。 ・介護保険サービスや介護保険外サービスについて理解する。
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。 ・ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携を理解する。 ・介護の資格とキャリアシステムについて、介護福祉士制度・資格の取得方法、介護職の基本職務を理解する。 <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材等を使いながら介護職が働く現場（居宅、施設）や仕事の内容を、具体的にイメージできる。
合計	6	

2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）

○到達目標・評価の基準

介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。

・介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。

・虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①人権と尊厳を支える介護	6	1	5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考え、尊厳という概念を理解する。 ・アドボカシー、エンパワメント、ICF、QOL、ノーマライゼーション等の考え方を理解する。 ・身体拘束禁止、高齢者虐待防止法、高齢者の養護者支援について理解する。 ・個人の権利を守る制度の概要について理解する。 <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってはいけない行動例について、「もし自分がされたら」という視点に立ち、どのようなことが挙げられるのかをグループで検討し、理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持やICF、ノーマライゼーション等の考え方の理解や、高齢者虐待防止法等の制度の概要について理解する。
②自立に向けた介護	3	1	2	<p>【講義内容】</p> <p>利用者及びその家族の要望にそのまま応えることと、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違い、自立という概念を理解する。</p> <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援、残存能力の活用、個別ケア、介護予防の考え方について理解する。
合計	9	2	7	

3 介護の基本（6時間）				
○到達目標・評価の基準				
<p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点からの支援を捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、専門性について列挙できる。 ・介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について列挙できる。 ・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙できる。 ・生活支援の場では会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。 ・介護職におこりやすい健康被害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を列挙できる。 				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性について理解する。 ・異なる専門性を持つ多職種について理解し、チームケアの重要性について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴、介護の専門性、介護に関わる職種について理解する。
②介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を通じて、介護職の職業倫理の重要性について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重について理解する。
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるリスクに気づき、緊急対応の重要性について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保、事故予防、安全対策、感染対策について理解する。
④介護職の安全	1	0.5	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職におこりやすい健康被害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点を理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理について理解する。
合計	6	3	3	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）

○到達目標・評価の基準

介護保険制度や障害福祉制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。

・生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。

・介護保険制度や障害福祉制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。

・ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。

・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。

・医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士制度等が行う医行為などについて列挙できる。

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護保険制度	3	1	2	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景及び目的、動向を理解する。 ・介護保険制度の仕組みや制度を支える財源等について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解する。 <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントにおける情報集の仕方など実際に使用しているシートを用いて演習を通して実践する。
②医療との連携とリハビリテーション	3	0	3	<p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士制度等が行う医行為などについて理解する。
③障害福祉制度及びその他制度	3	1	2	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉制度の理念や仕組み、その他の制度について理解する。
合計	9	2	7	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）

○到達目標・評価の基準

高齢者や障害者のコミュニケーション能力は1人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解している。

- ・共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。
- ・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職としてもつべき視点を列挙できる。
- ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。
- ・記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを列挙できる。

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について理解する。 ・言語的、非言語的コミュニケーションの特徴について理解する。 ・利用者の思いや家族の心理的理解、信頼関係の形成について理解する。 ・利用者の視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術や、失語症・構音障害、認知症に応じたコミュニケーション技術を理解する。 <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な傾聴や共感の応答の技術について実際に行うことで理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義や目的について理解する。
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解する。 ・介護における記録の意義と目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録について理解する。 <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を使用し、記録の種類や観察ポイント、記録の書き方についての理解を深める。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解する。
合計	6	3	3	

6 老化の理解（6時間）

○到達目標・評価の基準

加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。

・加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。

・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴や老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響を理解する。 <p>【演習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークにて、老化に伴う心身機能の変化を挙げ、それに伴う日常生活への影響について考える。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴を理解する。
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病と生活上の留意点を理解する。 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点を理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて理解する。
合計	6	3	3	

7 認知症の理解（6時間）

○到達目標・評価の基準

- 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解している。
- ・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。
 - ・健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。
 - ・認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等の基本的特性、およびそれに影響する要因を列挙できる。
 - ・認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方、および介護の原則について列挙できる。
- また、同様に、若年性認知症の特徴についても列挙できる。
- ・認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について概説できる。
 - ・認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。
 - ・認知症の利用者とのコミュニケーション（言語、非言語）の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方（良い関わり方、悪い関わり方）を概説できる。
 - ・家族の気持ちや、家族を受けやすいストレスについて列挙できる。

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	【講義内容】 ・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について理解する。 【通信課題概要】 ・パーソンセンタードケアや認知症ケアの視点（できることに着目する）について理解する。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	【講義内容】 ・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイントを理解する。 【通信課題概要】 ・健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて理解する。
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	【講義内容】 ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴を理解する。 ・認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方、および介護の原則について理解する。 【通信課題概要】 ・認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等の基本的特性、およびそれに影響する要因を理解する。 【演習内容】 ・小さな症状が今後どのような影響を心身に与えるのか気づきと支援のあり方などを事例を通じて、グループディスカッションを行う。
④家族への支援	1	0.5	0.5	【講義内容】 ・家族の気持ちや、家族を受けやすいストレスについて理解する。 【通信課題概要】 ・認知症受容過程での援助、介護負担の軽減（レスパイトケア）について理解する。
合計	6	3	3	

8 障害の理解（3時間）				
<p>○到達目標・評価の基準</p> <p>障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICFについて概説でき、各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について列挙できる。 ・障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。 				
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICF、ノーマライゼーションの考え方について理解する。
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、知的障害、精神障害の内容と特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各障害の内容・特徴各障害の内容・特徴を理解する。
③家族の心理、かかり支援の理解	1	0.5	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の理解、障害の受容支援、介護負担の軽減を理解する。 <p>【通信課題概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族への支援について理解する。 <p>【演習内容】*事例教材あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の障害によって起こった事例を題材に、家族への対応や支援についてグループディスカッションをおこなう。
合計	3	1.5	1.5	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）

到達目標・評価の基準

介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。

尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。

- ・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。
- ・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について概説でき、生活の中の介護予防、及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。
- ・利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。
- ・人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。
- ・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。
- ・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。
- ・装うことや整容の意義について概説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。
- ・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。
- ・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について、列挙できる。

	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要	
基本知識の学習	①介護の基本的な考え方	3	2	1	【講義内容】 ・ICFの視点に基づく生活支援、我流介助の排除、法的根拠に基づく介護を理解する。 【通信課題概要】 ・理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護を理解する。	
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	2	1	【講義内容】 ・学習と記憶の基礎的知識や感情と意欲基礎的知識を習得し、老化や法外を受け入れる適応行動とその阻害要因を理解する。 【通信課題概要】 ・人の記憶の構造や私欲等を支援と結びつけて理解する。	
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	3	1	【講義内容】 ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識や骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用について理解する。 【通信課題概要】 ・人体の構造や機能について理解し、何故行動が起こるのかを理解する。	
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	4	3	1	【講義内容】 ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援について理解する。 【通信課題概要】 ・家事援助の機能と基本原則について理解する。	
	⑤快適な居住環境整備と介護	4	3	1	【講義内容】 ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について理解する。 【通信課題概要】 ・利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを理解する。	
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	【講義内容】 ・整容に関する基礎知識、整容の支援技術を理解する。 【演習内容】 ・講師指導のもとグループに分かれ、衣服の着脱介助の技術を習得する。 【通信課題概要】 ・装うことや整容の意義について理解する。	
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	11	1	【講義内容】 ・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法について理解する。 【演習内容】（1日施設実習） ・講師指導のもとグループに分かれ、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法について習得する。 【通信課題概要】 ・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を理解する。	
	⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6.5	0.5	【講義内容】 ・食事にに関する基礎知識、食事環境の整備、食事に関連した用具・食器の活用方法を理解する。 【演習内容】 ・講師指導のもとグループに分かれ、食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法を習得する。 【通信課題概要】 ・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法を理解する。	
	⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6.5	0.5	【講義内容】 ・入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法を理解する。 【演習内容】 ・講師指導のもとグループに分かれ、楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法を習得する。 【通信課題概要】 ・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具について理解する。	
	⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6.5	0.5	【講義内容】 ・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法を理解する。 【演習内容】 ・講師指導のもとグループに分かれ、爽やかな排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法を習得する。 【通信課題概要】 ・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を理解する。	
	⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	2.5	0.5	【講義内容】 ・睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法を理解する。 【演習内容】 ・講師指導のもとグループに分かれ、快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法を習得する。 【通信課題概要】 ・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を理解する。	
	⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	4	2	2	【講義内容】 ・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）を理解する。 【通信課題概要】 ・終末期に関する基礎知識を理解する。	
	生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	4	3	1	【講義内容】 ・介護過程の目的・意義・展開について理解する。 【演習内容】 ・事例を元に、目標とする内容は介護過程を展開していく上でどのような視点を持ってケアしていくかを考え、グループのメンバーでディスカッションする。 【通信課題概要】 ・介護過程について理解する。
		⑭総合生活支援技術演習	6	6	0	【講義内容】 ・事例を元に、要支援者への支援(概要・生活状況・状態像把握・必要な支援とその理由)、要介護者・介護家族への援助(概要・生活状況・状態像把握・必要な支援とその理由)について、一連の生活支援を提供する流れを理解し利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点を習得する。 【演習内容】 事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題（1事例1、5時間程度で上のサイクルを実施する） ○事例は高齢（要支援2程度で認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例を選択して実施
	合計	75	63	12		

10 振り返り（4時間）		
○到達目標・評価の基準 研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①振り返り	2	【講義内容】 ・研修を通して学んだことの再確認を行う。 ・利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について再確認する。 【演習内容】 ・グループワークを行い、研修を通して学んだことを話し合うことで、自分自身の整理と情報共有を行う。
②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2	【講義内容】 ・継続的に学ぶべき事、研修終了後における継続的な研修について理解する。 ・事業所等におけるOFF-JT等のような実例をもとに継続的な学びをイメージする。
合計	4	